



農福連携で支える圓空さといも

中濃里芋生産組合 &
それいゆ(株)DAI)



武藤 保 さん



片桐 靖晴 さん

丸い形が関市ゆかりの圓空仏のかしらに似ているとして命名された「圓空さといも」は、もっちりとした粘りがあり、煮崩れしにくく味もよいと市場で高い評価を得ているが、生産者は家族経営の農家で、収穫・出荷調整作業が重労働であることから、従事者の高齢化とともに生産農家は減少していた。

その収穫・出荷調整作業を、J Aめぐみのが仲介し、就労継続支援A型事業所のそれいゆが受託することによって、ピーク時には及ばないものの、農家数、作付面積ともに増加させることができた。

サトイモは、株ごと掘り取って収穫する。湿った土にまみれた塊りはおよそ20キログラム、軽トラックの荷台に

乗せるにも重労働だ。作業場に運び、芋をはずして乾燥させ、表面の毛羽を取り分けする出荷調整作業が、農家にとって時間も手間もかかる。

「家は稲作農家で、サラリーマン時代から、ずっと作業を手伝ってきました。サラリーマンを辞め家業を本格的に引き継いだ7年前に、冬場の作業としてサトイモ栽培を行うことにしましたが、両親が夜中まで出荷調整作業をしている姿を見ていたので、作付面積を増やす気はありませんでした」と、中濃里芋生産組合長の片桐靖晴さんは話す。

そして、J Aめぐみの中濃営農経済センターの武藤保課長には、常に、どこか出荷調整作業を委託できるところはないかと相談していたそうだ。

一方、それゆへは、障害福祉サービスとしてサツマイモなどの栽培・加工を行っていたが、農業に関わる利用者の冬場の作業がないかと、中濃農林事務所に相談していた。この話を中濃農林事務所がJAめぐみのにつないだことが、地域の特産品でありながら生産者の減少に悩んでいた中濃里芋生産組合との出会いのきっかけとなった。

JAめぐみのは、当初から、作業指導、工賃の調整、作業場や毛羽取り機の貸与、農家への発注書の配布などの便宜を図ってきた。

武藤課長は、「作業委託するうえで重要なのは、作業の効率化と双方が納得する工賃です。当初それゆへが提示してきた金額では、利用者に最低賃金を支払うこともできませんでした。利用者の真面目で丁寧な作業を見て、これではいけないと思いました。」

利用者にとって安全な環境で、作業



円空さといも



サトイモの毛羽取り・選別作業。JAめぐみのが冬期で空いていた育苗ハウスと毛羽取り機を貸与している

培は、通常一人なら10アール、夫婦で20アールが限界だが、委託により、出荷調整作業の負担が減り、作付面積を、15アールから50アールに拡大することができたそうだ。

とも言わず作業してくれまう。重いので後で運ぼうと、高齢の母が残しておいた株も、指示など何もしないのに運んでくれました。最後に、貯蔵したサトイモの山にわらをかぶせ、ブルーシートで被うんですが、一度指示したら次からは言わなくてもやってくれます」。

数件の農家は、圃場にも、それゆへの利用者を受け入れている。結婚を機にサラリーマンから就農した森強さんもその一人、夏場のナス栽培の他に、サトイモを90アール栽培している。

平成28年度、試験的に4軒の農家の「乾燥、毛羽取り、選別作業」の委託からスタート。今では、10軒の農家が委託し、処理量は全生産量の18%、27トンにおよぶ。

農家から聞こえてくるのは、「毛羽の取り残しがなく仕事が丁寧」調整作業の労力を他に回せるのでありがたい「作付けを増やしたい」との評判だ。

片桐さんも最初からそれゆへに作業委託している農家の一人。サトイモ栽

「主に妻と母親を入れて3人で作業しています。うちは、収穫後、畑にまめて貯蔵し、出荷に応じて出荷調整作業をするので、人手は足りていました。それよりも、高齢者や女性にはきつい収穫作業をそれゆへさんをお願いしています。掘り取った株を軽トラックの荷台に載せて、畑内の貯蔵場所に降ろすので、何度も積み下ろししなければなりません。トラックで2往復したら休憩と決めています。利用者さんは誰もつらい



森強さん



中島 望さん

森さんは11月半ばから約1ヶ月の収穫作業に、利用者3名を1日6時間受け入れている。時間に縛りがあるため、シルバー人材センターにも依頼しているが、能力や適性に差があるのは、障がいのあるなしにかかわらず同じだと言う。

春の植付時期に、作業を頼むこともあるそう、「急な作業でも引き受けて



株の掘り上げまでは機械でできるが、運搬の積み下ろしは人手に頼る重労働

初めての作業でも、手本を見せればきちんとしてくれます。急な変更や天気によって急がせることは難しいですが、丁寧に作業してくれます。今のところ、雇用は難しいですが、作業を指示して任せたら自分以外の作業ができるので助かってます」と話してくれた。

「農機の運転も刈り払い機もなんでもできます。誠実に働いてくれるので、サトイモだけでなく、水稻にも従事してもらっています。」
「農機の運転も刈り払い機もなんでもできます。誠実に働いてくれるので、サトイモだけでなく、水稻にも従事してもらっています。」
草刈、消毒など、作業は年中あります。

「施設外就労でも施設外支援でも、就労継続支援A型事業所は、利用者に最低賃金を支払わなければならないため、農家との契約は、最低賃金を基本にした時給制になっています。利用者によって能力、作業量が違うので、農業者が納得しないといけない。あるところは、作業能力の高い利用者でないと務まりませんが、きちんとできるので時給を上げました。あるところは、単純作業しかなく作業能力の差は気になりませんが、毎年最低賃金の上昇に合わせて上げて良いものかどうか。ハウス内での出荷調整作業の単価も含めて、まだまだ課題はあります」と、武藤課長は言う。



株は湿った土にまみれて約20キログラムもの塊になる

喜びで自信にもつながります。生産者から声をかけてもらえた、頼りにされた、地域の仲間になれた、それがやりがいになります」と話してくれた。

J Aめぐみの主催の就農塾を終了して1年目の兼業農家が、今年度、サトイモの出荷調整作業の全量を委託したという。現在、作業場として貸与している育苗ハウスの設備では、30トンの受託が限界。中濃里芋生産組合の組合員でもあるそれいゆの毛羽取り機の新規取得や乾燥用ハウスの増設などにJ Aめぐみからも支援を行うことによって、受入れ農家も増やせ、利益も上がるのではないかと考えているそうだ。

(株)DAI代表取締役の中島望さんは「サトイモの収穫・出荷調整作業の受託を通して、農家や地域の信頼を得ることができました。休憩のお茶や収穫の打ち上げの食事に誘われたこともあり。利用者には、そういう経験が少ないので、「ありがとう」「助かったよ」「来年も必ず来てね」という一言が、無類の

取材メモ

片桐靖晴さん(関市)
品 目…サトイモ(水稻)
作付面積…約50アール

森強さん(関市)
品 目…サトイモ(テス)
作付面積…約90アール

それいゆ(関市)
サービス種別…就労継続支援A型 他
運営法人…株式会社DAI